プログラム

第1日目　11月7日 土　第1会場

9：10 ～ 9：40　会長講演　日本ストレス学会

座長：岩滿 優美　（北里大学大学院医療系研究科　医療心理学）

AIなどの技術革新の進む現代におけるストレスを歴史的に振り返ってみる

〇鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）

10：00 ～ 11：30　シンポジウム 1　日本ストレス学会

オーガナイザー：岩滿 優美（北里大学大学院医療系研究科　医療心理学）
座長：岩滿 優美（北里大学大学院医療系研究科　医療心理学）
山本 賢司（東海大学 医学部 医学科 教授）

「自殺リスク要因と自殺防止について」

労働者（医療者を含む）の精神障害と自殺について

〇山本賢司（東海大学 医学部 医学科 教授）

総合病院における院内自殺予防対策と医療者支援
病院組織と精神看護専門看護師の取り組みについて

〇白井 教子（北里大学病院精神看護専門看護師）

自殺関連行動のリスクと対策

〇高井 美智子（埼玉医科大学 医学部　臨床中毒科 講師）

14：00 ～ 15：00　教育講演 1　日本ストレス学会

オーガナイザー：鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）
座長：福地 成（東北医科薬科大学医学部 精神科学教室）

犯罪被害・性暴力被害のストレスについて

〇田崎 博一（弘前愛成会病院院長）

15：20 ～ 16：20　教育講演 2　日本ストレス学会

オーガナイザー：**鈴木 映二**（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）
座長：**宮岡 佳子**（跡見学園女子大学 心理学部 教授）

疲れる脳：精神疲労と職場ストレスのメカニズムを探る

〇中川 誠秀（東北医科薬科大学医学部精神科学教室教授）

16：40 ～ 17：40　教育講演 3　日本ストレス学会

オーガナイザー：**鈴木 映二**（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）
座長：**鈴木 映二**（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）

職域におけるストレス重視の陥穽

〇宮岡 等（北里大学精神科　名誉教授／医薬品医療機器総合機構（PMDA））

第1日目　11月7日 土　第2会場

9：40 ～ 11：40　シンポジウム　日本精神医学史学会

座長：濱田 秀伯（JDC カウンセリングセンター センター長）

「臨床スピリチュアリティ学の現在」

内村祐之、諏訪望、神谷美恵子の系譜から見る臨床スピリチュアリティ

〇松田 真理子（京都文教大学）

追放されたものはどこにあったか ―精神医学史とスピリチュアリティ

〇和田 信（大阪府立成人病センター）

スピリチュアルケアの現在と私たちの基盤人間観 ―久松哲学の視点から―

〇小西 達也（武蔵野大学）

臨床スピリチュアリティ学　指定討論

〇井原 裕（獨協医科大学埼玉医療センター）

13：00 ～ 14：00　教育講演 1　日本精神医学史学会

オーガナイザー：岡崎 伸郎（古川駅前メンタルクリニック名誉院長 兼 名誉所長）
鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）
座長：近藤 等（医療法人朋心会旭山病院）

相馬「事件」のストーリーと榊俶

〇八木 深（独立行政法人国立病院機構花巻病院　名誉院長
独立行政法人国立病院機構東尾張病院　特任院長補佐）

14：20 ～ 15：20　一般演題（1）　日本精神医学史学会

座長：大前 晋（虎の門病院）

「昭和初期の日本で」

O1-1　沖縄における精神医療の黎明（その 2）
〇當山 冨士子　沖縄県立看護大学

O1-2　昭和前期の精神病院の公然自慰患者について
〇鈴木 晃仁　東京大学

O1-3　昭和戦前期の松澤病院における「病者慰安運動会」の様相
〇山田 敏恵　椙山女学園大学人間関係学部人間共生学科

15：40 ～ 17：00　一般演題（2）　日本精神医学史学会

座長：橋本 明（愛知県立大学教育福祉学部 社会福祉学科 教授）

「宗教と精神医学」

O2-1　新 Freud 派の Karen Horney が鈴木大拙の禅に辿り着くまで（1）
〇宮本 聖也　社会福祉法人　桜ヶ丘社会事業協会　桜ヶ丘記念病院

O2-2　精神医学と宗教の情報リテラシー問題
〇森口 眞衣　日本医療大学

O2-3　ロールシャッハテスト　インクブロットカード形成の変遷 3
〇内藤 桃子　根岸病院

O2-4　コミュニタス論からみた宗教とポストモダン型精神療法
〇大塚 公一郎　自治医科大学看護学部

17：20 ～ 18：40　一般演題（3）　日本精神医学史学会

座長：森口 眞衣（日本医療大学）

「病因論・仮説」

O3-1　器質力動論と認知的不協和理論 III

〇高橋 豊　児玉教育研究所心理療法センター

O3-2　精神医学・心理学と制御工学の再接続 —起源・分断

〇相澤 信太郎　児玉教育研究所心理療法センター

O3-3　1913 年だヨ！全員集合 - 精神医学の 19 世紀と 20 世紀の転換点

〇大前 晋　国家公務員共済組合連合会虎の門病院精神科

O3-4　日本の子育てをめぐる問題への対応についての歴史（12）—江戸時代（4）江戸時代における生まれ変わりの記録—

〇中山 浩　川崎市南部児童相談所

O3-5　動物磁気論と二月革命：思想を生きる場と新たな社会関係の形成

〇北垣 徹　西南学院大学

第1日目　11月7日 土　ポスター会場

17：50 ～ 18：40　ポスターセッション1　日本ストレス学会

座長：中川 誠秀（東北医科薬科大学医学部精神科学教室教授）

「環境とストレス」

P1-01　クマ被害によるストレスの持続

〇奥山 純子[1)]、門廻 充侍[2)]　1）尚絅学院大学　健康栄養学類、2）秋田大学　情報データ科学部

P1-02　農作業体験がリトリートとしての体験になりうるか

〇黒田 将史[1)]、山口 琢児[1,3)]、胡 愛玲[1,3)]、田渕 雅宏[1,3)]、呉 桐[1)]、髙木 辰哉[1)]、水嶋 章郎[1,2)]

1）順天堂大学大学院医学研究科 緩和医療学、2）順天堂大学大学院医学研究科 分子細胞治療研究講座、

3）順天堂大学大学院医学研究科漢方先端臨床医学

P1-03　農園自然体験における作業別ストレス変化

〇呉 桐[1)]、胡 愛玲[1,3)]、山口 琢児[1,3)]、黒田 将史[1)]、川上 善治[3)]、宮入 徹[1)]、高木 辰哉[1)]、水嶋 章郎[1,2)]

1）順天堂大学大学院医学研究科 緩和医療学研究室

2）順天堂大学大学院医学研究科 分子細胞治療研究講座

3）順天堂大学大学院医学研究科 漢方先端臨床医学

P1-04　自発的な明暗環境制御がもたらすサーカディアンリズムの創出と内分泌ストレス応答の低減

〇松本 信圭[1, 2)]、小笠原 淳[1, 3)]、竹内 悠貴[1)]、山城 皓太郎[1)]、安井 正人[3)]、池谷 裕二[1, 2)]

1）東京大学 大学院薬学系研究科、2）東京大学 Beyond AI 研究推進機構、3）慶応義塾大学 医学部

11/7（土）　ポスター会場

17：50 ～ 18：40　ポスターセッション2　日本ストレス学会

座長：小田切 優子（東京医科大学公衆衛生学）

「大学生のストレス」

P2-01　医学生の睡眠リズム変化：8年間の縦断調査

〇黒田 佑次郎[1)]、若山 怜[2)]、川越 隆[1)]、柿崎 真沙子[1)]、鈴木 孝太[1, 2)]

1）愛知医科大学医学部衛生学講座、2）愛知医科大学産業保健科学センター

P2-02　大学生のアレキシサイミアと SAD 傾向

〇佐野町 佳穂[1)]、島田 栄子[2)]

1）文京学院大学大学院人間学研究科、2）文京学院大学・大学院／埼玉医科大学かわごえクリニック

P2-03　院内学級教員の職業性ストレスについて

〇陣内 恵海、岩滿 優美　北里大学大学院医療系研究科医療心理学

P2-04　心理ネットワークアプローチを用いた大学生における抑うつ症状の中心性および性差の検討

〇並木 伸賢、原口 彩子　新潟医療福祉大学

第２日目　11月8日 日　第1会場

9：00 ～ 10：00　特別講演　日本ストレス学会

オーガナイザー：鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）
座長：岩滿 優美（北里大学大学院医療系研究科　医療心理学）

東日本大震災のストレスからの回復と教訓 ―地域と職域が直面した課題と展望―

〇富田 博秋（東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野　教授）

11：30 ～ 12：30　ランチョンセミナー

座長：鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）

うつ病の治療ゴールをさらに高めるには　－さまざまなリカバリーを可視化していく－

〇渡邊 衡一郎（杏林大学医学部精神神経科学教室）

共催：武田薬品工業株式会社、ルンドベックジャパン株式会社

12：50 ～ 14：20　シンポジウム 2　日本ストレス学会

オーガナイザー：鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）
毛塚 大（東北医科薬科大学医学部　精神科学教室）
座長：鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）
毛塚 大（東北医科薬科大学医学部 精神科学教室）

「当事者の抱えるストレスについて考える」

就労する精神疾患当事者が抱えるストレスと職場における支援の課題

〇渡邊衡一郎（杏林大学医学部精神神経科学教室）

当事者が薬物療法において感じるストレス

〇毛塚 大（東北医科薬科大学医学部 精神科学教室）

当事者が家族とのかかわりにおいて抱えるストレス

〇磯谷 悠子（東北医科薬科大学病院精神科）

当事者が妊娠・出産・子育てで感じるストレス

〇鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）

当事者が感じるスティグマのストレス

〇石垣 真由子（山形大学　保健管理センター）

15：40 ～ 17：10　副大会長特別企画　日本ストレス学会

オーガナイザー：**中川 誠秀**（東北医科薬科大学医学部精神科学教室教授）
福地 成（東北医科薬科大学医学部 精神科学教室）
座長：**中川 誠秀**（東北医科薬科大学医学部精神科学教室教授）

「災害時のストレスについて考える」

変化し続ける被災地のメンタルヘルス

〇佐久間 篤（仙台医療センター）

災害精神保健 15 年の実践から学んだこと

〇福地 成（東北医科薬科大学医学部 精神科学教室）

第２日目　11月8日 日　第2会場

9：00 ～ 10：00　一般演題（4）

座長：高林 陽展（立教大学文学部 史学科世界史学専修 准教授）

「看護・治療」

O4-1　石橋ハヤ日記にみるナイチンゲール記章受章

〇鈴木 雪乃[1,2)]

1）名古屋葵大学　健康科学部看護学科、2）愛知県立大学大学院　人間発達学研究科　博士後期課程

O4-2　アリエッティ、テイラーの論争とエビデンス

〇越膳 航平、大前 晋　国家公務員共済組合連合会　虎の門病院

O4-3　ハームリダクションの系譜

〇橋本 明　愛知県立大学

10：20 ～ 11：20　教育講演 2　日本精神医学史学会

オーガナイザー：岡崎 伸郎（古川駅前メンタルクリニック名誉院長 兼 名誉所長）
鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）
座長：岡崎 伸郎（古川駅前メンタルクリニック名誉院長 兼 名誉所長）

ついに終焉を迎えた民間精神疾患療養施設「定義温泉」について

〇近藤 等（旭山病院理事長）

13：10 ～ 14：10　一般演題（5）

座長：宮本 聖也（桜ヶ丘記念病院）

「心的外傷」

O5-1　アメリカにおけるトラウマ概念形成の道筋をたどる ～生物・心理・社会的文脈からの一視点 (2) ～

〇若山 須賀子　児玉教育研究所心理療法センター

O5-2　国立肥前療養所における未復員兵士（第一報）

〇本村 啓介[1, 2)]、中村 江里[3)]

1）国立病院機構花巻病院、2）国立病院機構肥前精神医療センター臨床研究部、

3）上智大学文学部史学科

O5-3　ポスト・ベトナム・シンドロームに対する精神的リハビリテーション

〇村山 拓　東京学芸大学　特別支援科学講座

14：30 ～ 15：30　特別講演　日本精神医学史学会

オーガナイザー：鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）

座長：鈴木 映二（古川駅前メンタルクリニック・東北医科薬科大学医学部）

我が国における抗うつ薬開発の歴史

〇村﨑 光邦（CNS 薬理研究所）

15：50 ～ 17：50　一般演題（6）

座長：毛塚 大（東北医科薬科大学医学部 精神科学教室）

「人権、社会の受け入れ、回復」

O6-1　戦後における愛知県立城山病院の機能変容と「社会復帰」の展開

〇西本 彩香　日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科

O6-2　岡山の精神医療の源流を辿る～山本昌知の足跡から～

〇田渕 泰子　岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科

O6-3　保護と放浪のあいだ ―精神科医・式場隆三郎の「精神薄弱児」保護思想と山下清

〇澤田 佳代　日本福祉大学

O6-4　１４f １３作戦をめぐって　― ナチ・ドイツによる第二次世界大戦中の強制収容所における精神疾患患者の組織的殺害

〇梅原 秀元　東海大学文学部

O6-5　公立精神病院の建築空間における「隔離と開放」に関する歴史研究

〇川上 伸太郎　筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群デザイン学学位プログラム

O6-6　「狐憑き」の伝承

〇足立 孝子　長崎国際大学

第2日目　11月8日 日　ポスター会場

10：10 ～ 11：10　ポスターセッション3　日本ストレス学会

座長：山田 和男（東北医科薬科大学医学部 精神科学 教授）

「疾患、職場のストレス」

P3-01　双極症の患者家族が抱える思いに関する質的検討

〇石垣 真由子[1)]、毛塚 大[2)]、磯谷 悠子[2)]、鈴木 映二[2, 3)]、中川 誠秀[2)]

1）山形大学 保健管理センター、2）東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室、

3）古川駅前メンタルクリニック

P3-02　KH Coder を活用した双極性障害当事者アンケートの家族 ―当事者間比較解析

〇小塚 脩平[1,2)]、磯谷 悠子[1)]、鈴木 千穂[3)]、毛塚 大[4)]、中川 誠秀[4)]、鈴木 映二[4,5)]

1）東北医科薬科大学病院精神科、2）社会医療法人あさかホスピタル、

3）NPO 法人日本双極性障害団体連合会、4）東北医科薬科大学医学部精神科学教室、

5）古川駅前メンタルクリニック

P3-03　がん患者家族の心理的支援・希求の有無と QOL について

〇佐藤 稔子[1)]、頓田 美奈子[2)]、元永 拓郎[3)]、渡邊 清高[4)]、岩滿 優美[2)]

1）帝京大学　心理臨床センター、2）北里大学大学院　医療系研究科　医療心理学、

3）帝京大学 文学部 心理学科、4）帝京大学医学部内科学講座

P3-04　バーンアウトとワークエンゲイジメントは人格の変容に影響するのか？：1 年間のコホート研究

〇福崎 俊貴[1)]、岩田 昇[2)]

1）鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座、2）獨協医科大学大学院看護学研究科

P3-05　職場における性的マイノリティに対する嫌悪感低減のための介入研究

〇大塚 泰正[1)]、松高 由佳[2)]、津野 香奈美[3)]、飯田 順子[1)]、藤 桂[1)]

1）筑波大学、2）県立広島大学、3）神奈川県立保健福祉大学

10：10 ～ 11：10　ポスターセッション 4　日本ストレス学会

座長：辻 稔（国際医療福祉大学 薬学部 教授）

「ストレス生理・身体反応の新展開」

P4-01　ストレス反応による皮膚色評価の試み

〇田中 陵雅[1)]、平手 裕市[1)]、中井 浩司[1)]、小嶋 和恵[2)]、岡山 琴巳[2)]、真舩 志帆[2)]、
立松 陽夏[1)]、野々垣 彩音[1)]

1）中部大学大学院　生命健康科学研究科　生命医科学専攻、

2）中部大学　生命健康科学部　臨床工学科

P4-02　体位変換時の自律神経応答と加齢

〇田中 陵雅[1)]、平手 裕市[1)]、松井 藤五郎[2, 3)]、中井 浩司[1)]、小嶋 和恵[3)]、立松 陽夏[1)]、
野々垣 彩音[1)]、勝野 真衣[3)]、山本 奏汰[3)]

1）中部大学大学院　生命健康科学研究科　生命医科学専攻、2）中部大学　工学部　情報工学科、

3）中部大学　生命健康科学部　臨床工学科

P4-03　経鼻 NAC ミセルの神経障害性疼痛への効果

〇南郷 拓嗣[1)]、宮岸 寛子[1)]、若狭 慎也[1)]、萩原 菜月[1)]、鈴木 直人[2)]、長友 太希[2)]、
鈴木 豊史[2)]、金沢 貴憲[3)]、小菅 康弘[1)]

1）日本大学 薬学部 薬理学研究室、2）日本大学 薬学部 薬剤学研究室、

3）徳島大学 薬学部 薬物治療学分野

P4-04　パイプオルガンの響きが心理的、生理的に及ぼす影響　第 2 報

〇小林 ゆかり[1)]、呉 桐[1)]、胡 愛玲[1)]、田渕 雅宏[1)]、山口 琢児[1)]、高木 辰哉[1)]、水嶋 章郎[1, 2)]

1）順天堂大学大学院医学研究科緩和医療学、2）順天堂大学大学院分子細胞治療研究講座